

高齢者支援計画

ヤングケアラー支援に関する記載の追記について

令和５年７月１０日に行われた国の審議会「社会保障審議会介護保険部会」において、第９期介護保険事業（支援）計画の基本指針の案が検討されました。

本基本指針（案）において

「前世代型社会保障の構築を進める観点から、ヤングケアラーも含めた家庭における介護の負担軽減のための取り組みを進めることが重要である」

と示されたことから、介護家族支援について以下の２か所に追記しました。

第２回配布資料 １-２ P36

ウ）高齢者何でも相談室に求められる機能強化と取り組みの方向性

【取り組みの方向性】５．について下記のとおり追記

「５．8050 問題やダブルケア・ヤングケアラー等の高齢者やその家族を取り巻く複雑・複合化する課題に対し、重層的支援体制整備事業と連動して、関係機関や障害・児童・生活困窮等の各分野とも連携を強化させ、適切な支援に繋がるように対応していきます。」

第２回配布資料 １-２ P45（６）介護家族の負担の軽減 上から 11 行目に追記。

「～取り組んでいきます。また、近年課題となっているヤングケアラー（本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども）については、介護に係わる事業所等で、ヤングケアラーについての認知度の向上をはかり、早期発見ができるよう、また、そのような状況におかれた事例があった場合には、支援する機関に早期につなげられるようにしていきます。」